

当院のPACSの運用

町立西和賀さわうち病院 放射線科 佐々木 立子

当院のPACSの紹介

- 当院では、平成26年の病院移転に伴い、PACS(コニカミノルタ/I-PACS SX)を新規導入した。
- 現在、放射線科で撮影される画像の他、超音波画像、内視鏡画像など、院内で撮影される画像データはほぼすべてPACSに保存、管理されている。

PACSとは？

- PACS(Picture Archiving and Communication System)とは、医療用画像管理システムのことである。CR、CT、MRIといった画像撮影装置(Modality)から受信した画像データを保管、閲覧、管理することを目的とする。超音波、内視鏡、眼底といった非放射線機器の画像についても、DICOMという共通の規格を通じて連携を図ることにより一元管理することが可能となる。

PACSを導入することにより、フィルムの運搬や保管に伴う手間やコストの削減が期待できるとともに、電子カルテやオーダリングシステム、RISなどのシステムと連携することにより院内業務の効率性を向上させることが可能となる。

当院撮影機器

PACSに保存

- 一般撮影
- ポータブル
 - CT
 - MRI
 - 透視
- 骨密度(DEXA)
- マンモ
- 歯科パノラマ

+

内視鏡、超音波画像

当院PACSの仕様

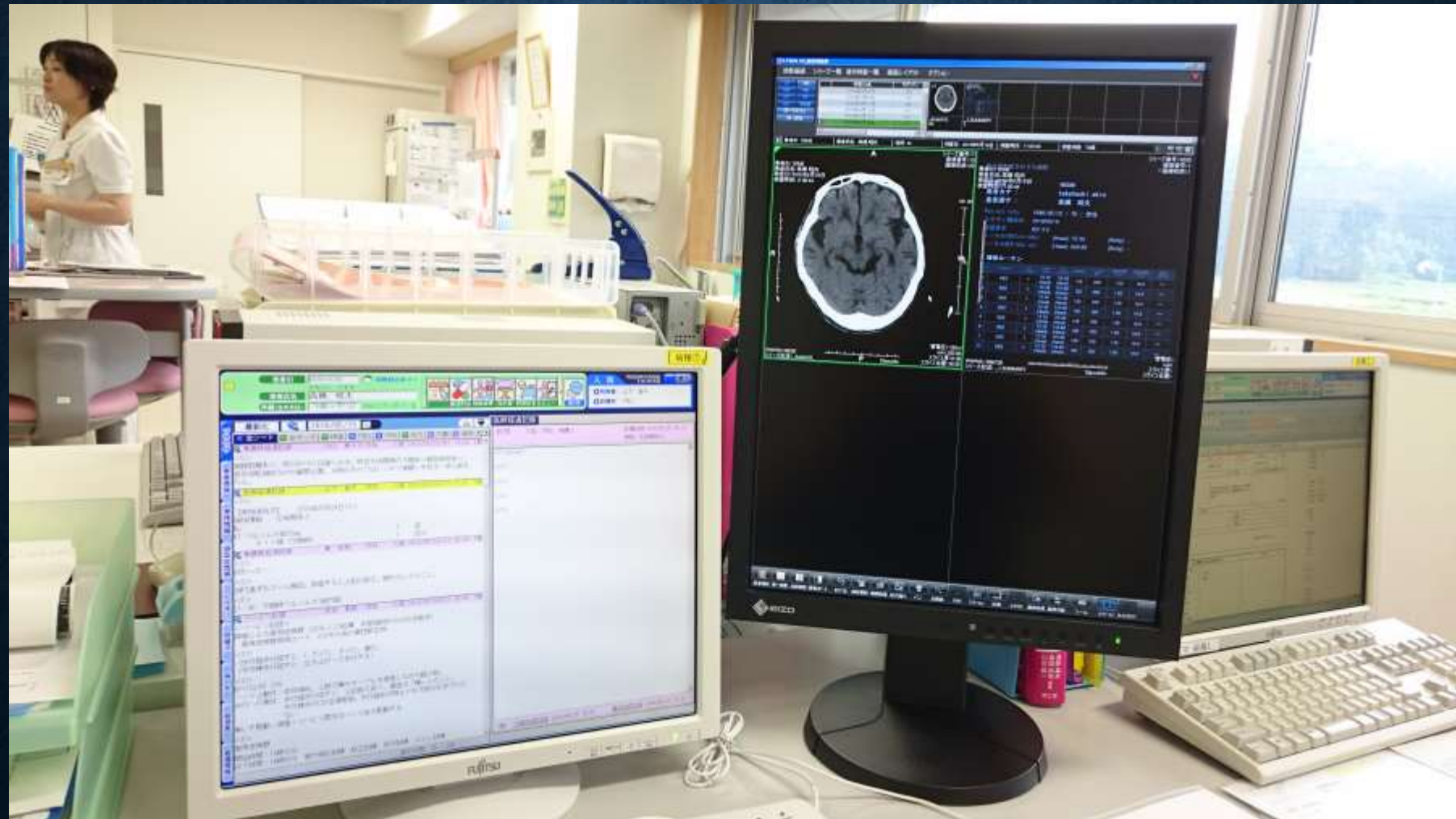
- I-PACS SX TypeC サーバー本体 1TB
- I-PACS SX TypeC ソフト
- EIZO モニタ マンモ読影用ペアリング5Mモニター…1
 マンモ読影リスト用1Mカラーモニター…1
 診察室用2Mモニター…5
- クライアント同時接続ライセンス…5
- リモートメンテナンスルータ

等々その他色々

診察室2



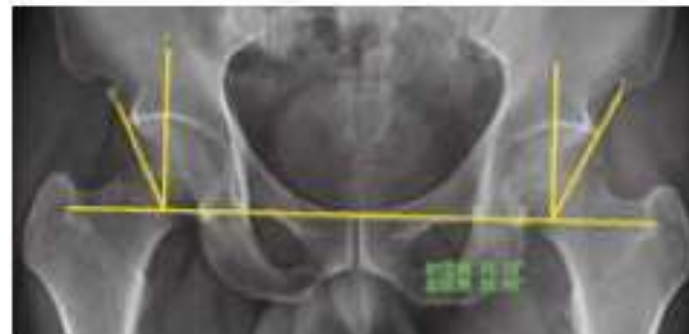
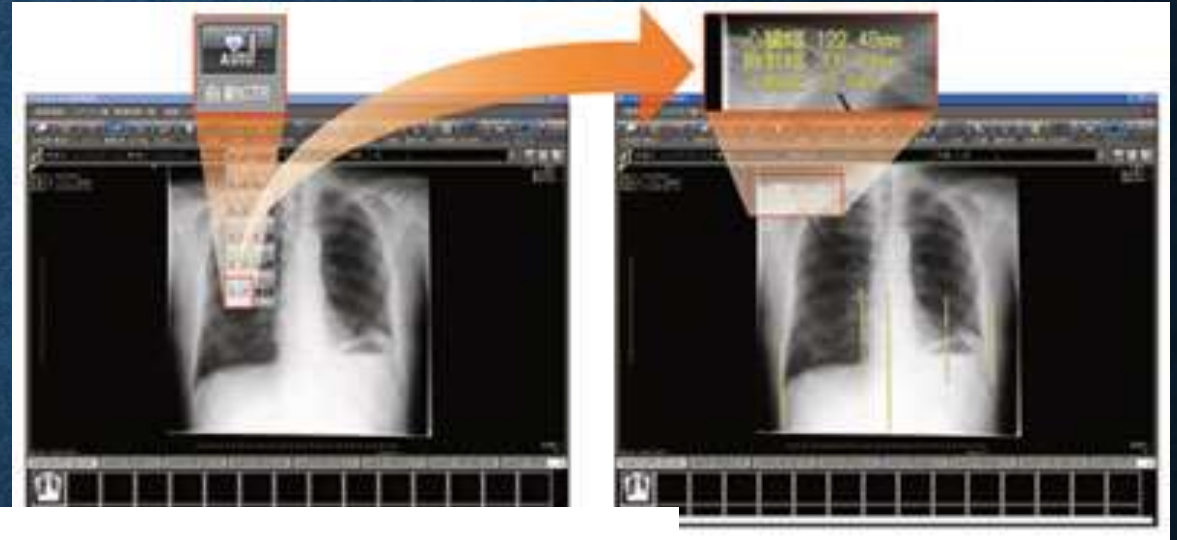
病棟ナースステーション



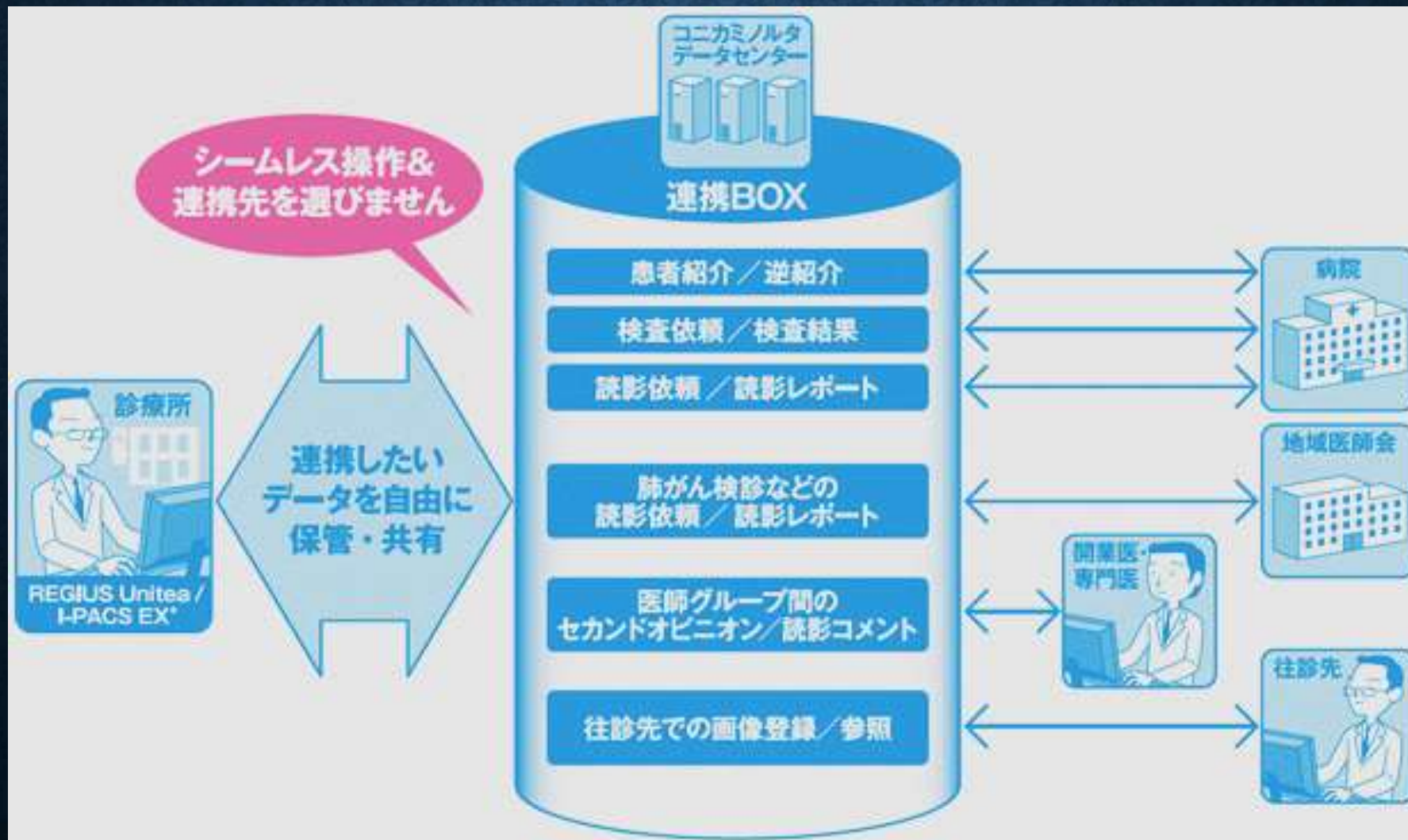
放射線科



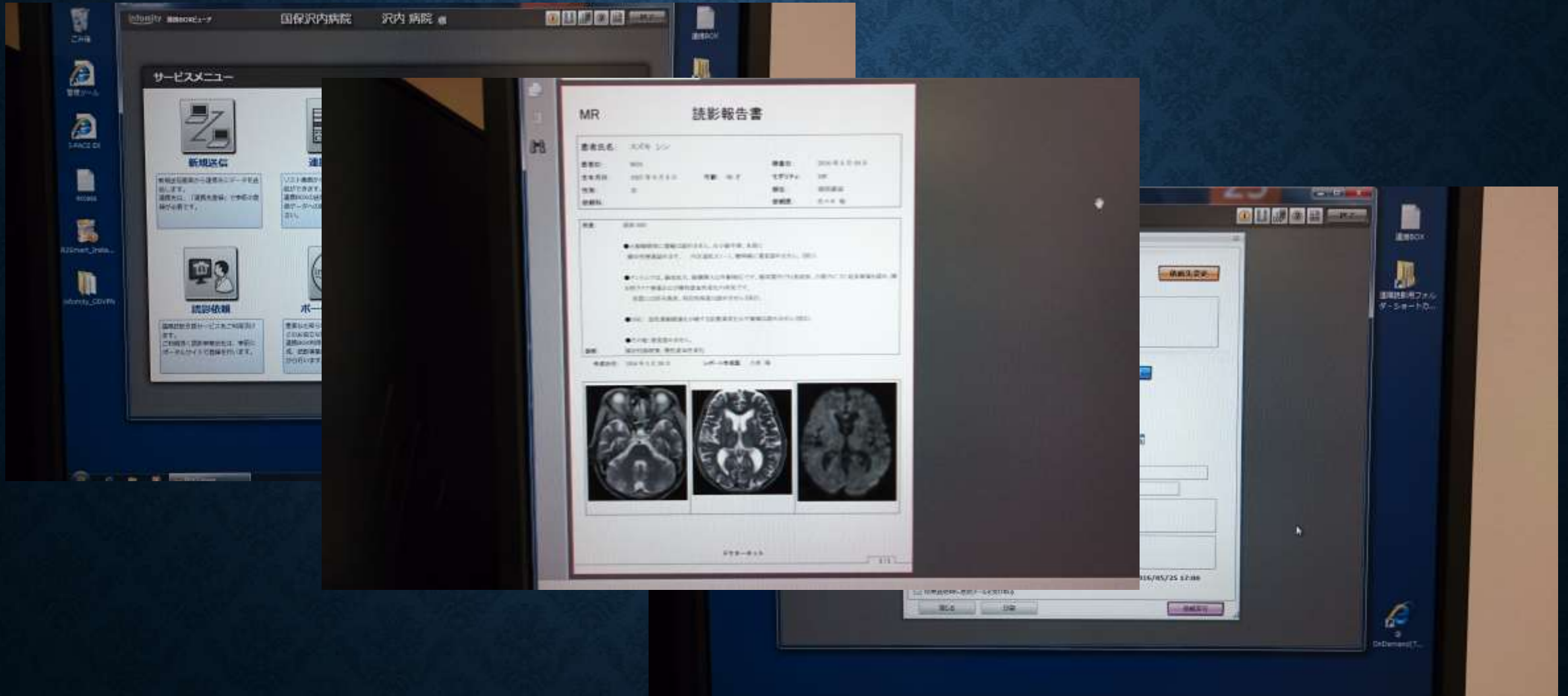
ビューアー機能の紹介



連携BOXサービス



連携BOXを活用しての読影依頼



今後の課題

- 4月から運用しているMRI室に、電子カルテ端末かPACSのクライアントPCの設置。
- 眼底写真のPACSへの保存と管理。
- 放射線科の検査予約を電子カルテ上でできるようにするためのシステムの構築。
- 連携Boxサービスを用いた地域病院との連携。

まとめ

当院のPACSの運用について紹介した。

現在、PACSの運用は安定的に行われており、院内での使用に関しては特に問題は無いように思われる。

しかし、将来を見越して購入したPACSの機能を十分に活用し、
2年が経過しようとしているのが現状である。

今後更なる患者サービスの向上を目指
いきたい。

